

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	世界ドーピング防止機構等関係経費	<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度	<b>担当課室</b>	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 杉浦 久弘			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	XII-3 我が国の国際競技力の向上				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」第14条	<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	ドーピングは、競技者の健康を損ね、スポーツの価値を損ねるなどの問題があり、世界的規模での幅広い防止活動が求められている。我が国は、世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域代表常任理事国として、またユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、WADA常任理事会・理事会などの国際的な活動に参画することによって、ドーピング防止活動の推進を図る。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	(1)WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、規程、国際基準、予算、決算等について要求、助言、折衝、承認等を行う。 (2)ユネスコ規約締約国会議に出席し、ユネスコの活動、規約・附属文書等について要求、助言、折衝、承認等を行う。 (3)ドーピング防止に関するアジア地域政府間会議に出席し、アジア地域における活動、WADAへの拠出金について要求、助言、折衝、承認等を行う。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	20	20	25	23	26
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
		計	20	20	25	23	26
	執行額	23	20	23			
執行率(%)	115.0%	100.0%	92.0%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、当該年度に開催されるWADA常任理事会・理事会、アジア政府間会議等に出席し、アジア地域代表常任理事国としてWADAの活動、予算等について、要求、助言、折衝、承認等を行い、ドーピング防止活動の推進に資することを主な目的としており、定量的な指標にはなじまない。	成果実績					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	WADA常任理事会・理事会等国際会議出席回数	活動実績 (当初見込み)	回	6	5 ( 7 )	5 ( 7 )	— ( 6 )
<b>単位当たりコスト</b>	WADA常任理事会・理事会等国際会議出席1回当たりのコスト(2,561,934円/1回)	算出根拠	単位当たりコスト=平成23年度世界ドーピング防止機構等関係経費職員旅費執行額(12,809,669円)/国際会議出席回数(5回)				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	庁費	12百万円	12百万円				
	職員旅費	11百万円	14百万円				
	計	23百万円	26百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、スポーツ立国戦略の「ドーピング検査体制・防止活動の充実」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、また、スポーツ界の透明性や公平・公正性を向上させることは、誰もが安全かつ公正な環境の下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件であり、次代を担う青少年が、スポーツを通じて、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから、広く国民のニーズがある事業である。なお、日本は、アジアで唯一のWADA常任理事国として、国際的なドーピング防止活動の推進を図る義務があるため、国が総合的に推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、見積もり合わせ等によりその妥当性や競争性を確保するとともに、一般競争入札を実施しており、単位当たりコストの削減に努めているところである。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	WADA常任理事会・理事会等への出席であり、委託事業等になじむものではなく、本省による直接執行が最も実効性の高い手段である。 活動実績については、当初見込みを下回っているが、WADA常任理事会・理事会等の開催は、その年度中に決定されることも多く、当初予定よりも開催数が少なかったことによるものであり、出席すべき会議には全て出席し、国際的なドーピング防止活動の推進を図っている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・予算の執行については、同時通訳や資料翻訳等の役務業務について一般競争入札を行うことで、コストの削減に努めている。</p> <p>・事業の活動実績については、WADA常任理事会・理事会、アジア政府間会議等に全て出席し、アジア地域代表常任理事国として責任を果たしている。</p> <p>・本事業では、世界ドーピング防止機構の会合にアジア地域代表常任理事として出席し、国際スポーツ界が目指すドーピングのないクリーンなスポーツの実現に向けた提言や活動を行うことにより、我が国が国内及びアジア地域内におけるドーピング防止活動に積極的に取り組み、ドーピングの撲滅に貢献していることを国際スポーツ界に明確に示すことができた。今後とも、コスト削減に努めつつ、アジア地域代表常任理事国としての責任を果たしていくべきである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、WADA常任理事会・理事会などの国際的な活動に参画することによって、ドーピング防止活動の推進を図ることを目的とした長期継続事業であり、活動費の妥当性の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：この事業は、平成23年度決算において不用額が生じているが、平成24年度当初予算で既に予算の縮減を図るなど一定の見直しを実施している。平成25年度概算要求においても、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	事業の効率化を図るため、旅費の積算単価や会議開催出席回数を見直し、概算要求に▲2百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>※平成21年度は他事業から流用しているため、執行率が100%を超えている。</p> <p>スポーツ基本計画について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</a>          スポーツ立国戦略について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</a>          世界ドーピング防止規程について：<a href="http://www.playtruejapan.org/downloads/code/WADA_CODE_2009_JP.pdf">http://www.playtruejapan.org/downloads/code/WADA_CODE_2009_JP.pdf</a>          日本ドーピング防止規程について：<a href="http://www.playtruejapan.org/downloads/code/JADA_Code_2009_Version2.pdf">http://www.playtruejapan.org/downloads/code/JADA_Code_2009_Version2.pdf</a>          ユネスコ「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」について：<a href="http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/017.pdf">http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/017.pdf</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0370	平成23年行政事業レビュー	0359

文部科学省  
23百万円

職員旅費13百万円を含む

(1)WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、規程、国際基準、予算、決算等について要求、助言、折衝、承認等を行う。  
(2)ユネスコ規約締約国会議に出席し、ユネスコの活動、規約・附属文書等について要求、助言、折衝、承認等を行う。  
(3)ドーピング防止に関するアジア地域政府間会議に出席し、アジア地域における活動、WADAへの拠出金について要求、助言、折衝、承認等を行う。

【一般競争・請負】

A. 日本コンベンションサービス(株)  
9百万円

WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳業務・同時通訳者の手配、派遣

【一般競争・請負】

B. メディカルシステムコンサルタント(株)  
1百万円

WADA常任理事会等国際会議に係る資料等翻訳業務

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.日本コンベンションサービス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通訳費	国際会議における同時通訳業務	9			
計		9	計		0
B.メディカルシステムコンサルタント(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
翻訳費	国際会議資料翻訳業務	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**支出先上位10者リスト****A.WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳業務**

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本コンベンションサービス(株)	WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳業務・同時通訳者の手配、派遣	9	10	71.35%

**B.**

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	メディカルシステムコンサルタント(株)	WADA常任理事会等国際会議に係る資料等翻訳業務	1	11	55.55%